

第5章 投入計画⁷

5－1 パキスタン側の投入

人的・物的・知的投入については、関係省庁からの投入の同意が得られた。資金面については、連邦・県レベルにおける投入（定期会議への参加費用、光熱費等）について同意が得られた。

5－2 日本側の投入

(1) 専門家

1) 長期専門家

長期専門家をチーフアドバイザー、業務調整員の2名とする。本邦・第三国からの短期専門家（障害当事者）、本邦・第三国・現地国内研修（障害者・非障害者）に加え、4つの障害種と障害者に対して 障害当事者による障害当事者のフィールド調査（約1年間）等を予定しており、業務調整員の投入により、プロジェクトがより効果・効率的に実施される。

2) 短期専門家

短期専門家は「自助団体・当事者団体・家族協会の育成強化」および「アウェアネスライジング」について、少なくとも2名×1ヶ月を派遣することとする。なお、派遣期間については必要に応じ、2週間×2回等の対応を行う。専門家は障害当事者とし、本邦もしくは第三国からの派遣とすることが望ましい。その他の専門家については、カウンタパート機関と協議のうえ、決定していく。

(2) 供与機材

調査、研修、広報等に利用する調査用車両として、車椅子利用者等の肢体不自由者にもやさしいワゴンタイプの福祉車両が適切である。また、アボタバード県は山岳地帯が多くを占めているため、四輪駆動車が望ましい。研修用視聴覚機材・事務機器等については、費用が小さく、プロジェクト開始直後に必要であるため、在外事業強化費にて対応する。

(3) 研修

1) 本邦研修

「障害者リーダー育成コース」「障害者スポーツによる社会参加」の2つの集団研修への参加が考えられる。パキスタンにおける実績としては、前者3名、後者1名の研修受入れがあ

7 パキスタン側、日本側の投入については表5－1にまとめた。（M／Mの添付資料）

り。なお、カウンタパート研修については、プロジェクト実施段階に協議・決定する。研修受入れ先としては、JICA集団研修「障害者リーダー育成コース」および「ダスキン愛の輪基金」による障害者リーダー育成研修をアレンジしている日本障害者リハビリテーション協会等があげられる。集団研修・国別研修を組み合わせた研修により、さらに効果的な研修成果が期待される。

本邦研修については、「障害者の実施者としての参加」を念頭におけば、連邦・州・県政府いずれか代表とともに3レベル政府いずれかの障害のある職員、もしくは障害当事者NGOの代表、を二人一組で派遣することが望ましい。社会文化的、ジェンダーのバランスを配慮して研修員を選択する。これらの視点、および障害当事者の研修参加については、第三国研修についても同様である。

2) 第三国研修

APCDプロジェクト（タイ）、「ダスキン愛の輪基金」による障害者リーダー育成研修との連携を鑑み、研修候補先としてAPCDおよびAPCDフォーカルポイントがあげられる。APCDについては第2フェーズにおいて研修受入れは限定されているため、特に南インドの政府・非政府組織に委託する形での第三国研修の実施が考えられる。例として、「自助組織・当事者組織・家族協会の育成強化」についてはインドのNGO「COMITMENT」「アウェアネスライジング」についてはバングラデシュのNGO「CCD」等があげられる。

3) 現地国内研修

プロジェクトにおける研修としては、①障害者および家族のリーダー育成研修、②障害者・非障害者組織代表に対するアウェアネスライジング研修、③サービス提供機関代表に対する情報アクセシビリティに関する研修、が予定されている。その他、プロジェクト1年目に実施されるフィールド調査においては、インタビュアを対象とした障害問題、調査手法等に関する研修が予定されている。講師、期間、対象人数等については、研修内容に応じ、カウンタパート機関と協議のうえ、決定する。なお、講師については、連邦、州、県政府、NGO、障害者およびその家族の代表の中から、社会文化的、ジェンダーの視点も踏まえたうえで講師を選択する。

(4) 資 金

1) 調査費用

調査費用としては、インタビュアへの賃金、調査者対象研修講師への賃金、調査用車両借料、消耗品、資料作成費、印刷費等を予定されている。なお、インタビュア、講師への賃金

については、カウンタパート機関とも協議のうえ、年齢、学歴、経験等を配慮し基準を設ける。また、障害の状態に応じて公共の交通機関が利用できない場合に限り、交通費を支給するなどの対応が必要。今回のフィールド調査においては、政府関係者への日当基準を参考に障害のあるインタビュアに対しては一律500ルピー、アテンダントに対しては、280ルピーを日当という形で支給し、各自宅からの事務所までの移動については、調査用車両で送迎を行った。

2) 研修費用

研修費用としては、本邦・第三国・現地国内研修にかかるすべての費用を予定されている。ただし、APCDによる研修等については、APCD側で一部負担の場合もあり。連邦・州・県政府・NGO関係者、障害当事者、およびその家族が研修講師となった場合、必要に応じて交通費・日当・宿泊費を準備する。パキスタンで実施中の他のJICAプロジェクトの基準を参考に研修受講者についても同様に交通費・日当・宿泊費の基準をカウンタパートと協議のうえ、決定する。

3) 会議関連費用

各会議に関する費用として、以下に記す。

①合同調整員会会議（年1回、首都イスラマバード）

- 連邦政府からの出席者に対しては、日当のみ準備する。
- 州政府からの出席者に対しては、日当、交通費を準備する。
- 県政府からの出席者に対しては、移動は調査用車両を利用し、日当のみ準備する。
- NGO・障害当事者・その家族の出席者に対しては、必要に応じて日当、交通費を準備する。

②国家行動計画ワーキンググループ会議（年4回、州都ペシャーワル）

- 連邦政府からの出席者に対しては、日当、交通費のみ準備する。
- 州政府からの出席者に対しては、日当のみを準備する。
- 県政府からの出席者に対しては、移動は調査用車両を利用し、日当のみ準備する。
- NGO、障害当事者およびその家族の出席者に対しては、必要に応じて日当、交通費を準備する。

4) 消耗品

消耗品としては、福祉車両の燃料・オイル代他、事務用具、プリンタトナー、印刷用紙、UPS等を予定している。

表5-1 パキスタン側（連邦・州・県政府）と日本側の投入

組織	人的リソース	物的リソース	資金リソース
連邦政府	[特殊教育局、イスラマバード] <ul style="list-style-type: none"> • 北部地域局長：プロジェクトチーフマネージャー、議長JCC • トレーナー、講師 • 国家行動計画コーディネーター：国家行動計画ワーキンググループメンバー [特殊教育センター、アボタバード] <ul style="list-style-type: none"> • センター長：プロジェクトステアリングチームメンバー • 正規職員：プロジェクトスタッフ • ドライバー：プロジェクト関連旅行ドライバー 	[特殊教育センター、アボタバード] <ul style="list-style-type: none"> • ホール：現地国内研修ルーム • 大型バス：プロジェクト関連旅行用 	• 国家行動計画ワーキンググループ会議 ペシャーワル参加のための日当・交通費
州政府	<ul style="list-style-type: none"> • 社会福祉セクレタリー、社会福祉局代表：JCC・国家行動計画ワーキンググループメンバー • 州リハビリテーションコーディネーター：国家行動計画ワーキンググループメンバー • トレーナー、講師 	<ul style="list-style-type: none"> • 国家行動計画ワーキンググループ会議 ペシャーワルのための会議室および設備 	
県政府	<ul style="list-style-type: none"> • 県調整局長：プロジェクトダイレクター • 県計画局長：国家行動計画ワーキンググループメンバー • 県社会福祉・コミュニティ開発局長：プロジェクトマネージャー • 福祉車両ドライバー • トレーナー、講師 	<ul style="list-style-type: none"> • 専門家2名、プロジェクトスタッフ1名に必要な、プロジェクトオフィスおよび必要な家具 • 県立盲学校 • 県立ろう学校 	
JICA	<p>長期専門家2名 チーフアドバイザー 業務調整員</p> <p>短期専門家数名</p> <ul style="list-style-type: none"> • 障害当事者組織、自助組織、家族協会の設立・強化 • アウェアネスライジング <p>※その他、必要に応じ同意の上、派遣</p>	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資機材 コンピュータ、プリンタ、プロジェクトタ、デジタルカメラ等 • 車両 福祉車両 • 研修 本邦・第三国・国内研修 	<p>プロジェクトコスト</p> <ul style="list-style-type: none"> • 調査、啓発活動、情報発信・分配に関する費用（資料作成、印刷、旅費、調査者・講師の交通費・日当） • 各種会議に関する会議費、消耗品費 • 福祉車両、連邦政府大型バスの燃料、オイルその他 • 本邦・第三国・現地国内研修にかかる費用 • JCCと国家行動計画ワーキンググループ会議に関する、州・県政府参加者の交通費・日当